

平成20年10月29日

各 位

上場会社名 富士物流株式会社
 代表者 代表取締役社長 小林 道男
 (コード番号 9061)
 問合せ先責任者 経営企画部長 樋口 祐二郎
 (TEL 03-5476-8672)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年4月25日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	45,000	1,400	1,350	650	26.64
今回発表予想(B)	42,500	1,050	1,000	490	20.08
増減額(B-A)	△2,500	△350	△350	△160	――
増減率(%)	△5.6	△25.0	△25.9	△24.6	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	41,871	1,261	1,212	481	19.72

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	39,000	1,250	1,250	650	26.64
今回発表予想(B)	37,000	900	900	490	20.08
増減額(B-A)	△2,000	△350	△350	△160	――
増減率(%)	△5.1	△28.0	△28.0	△24.6	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	36,051	1,089	1,097	431	17.67

修正の理由

当第2四半期連結累計期間の業績は、前年同期実績に対しては増収増益となったものの、景気動向の悪化による貨物量の減少の影響により、当初の業績予想に対しては営業収益、営業利益、経常利益、四半期利益ともに未達成となりました。

当連結会計年度の業績(通期)につきましては、第2四半期以降の貨物量の減少がさらに進行することが予想されます。営業収益の減少に伴い、営業利益、経常利益、当期純利益も前回予想を下回る見通しであります。なお、利益面につきましては、今後もトヨタ生産方式(TPS)を基本とした業務効率化を推進し業績向上に努めてまいります。

当第2四半期の業績および今後の景気動向を踏まえ、上記のとおり通期の業績予想を修正させていただきます。

※ 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上